

福祉科「コミュニケーション技術」授業実践紹介

授業者：森脇 未来子

学 年：3年

単元名：コロナ禍における非常事態においてもサービス利用者の生活にハリを与え、生きがいを感じてもらえるようなレクリエーションを計画・実践しよう

単元のねらい（7つのチカラ：考える力、行動する力）

コロナ禍における非常事態で、デイサービス（ケア）センターでの福祉実習が実現できなくなった。この状況下でも、サービス利用者の状態や状況を考慮して、利用者が生活にハリを感じ、生きがいを感じられるようなレクリエーションを計画・実践することができる。

単元の流れとパフォーマンス課題

あなたは夏休みに福祉実習（~~デイサービスセンター~~ or ~~デイケアセンター~~）に行きます。福祉実習に行けなくなりましたが、サービス利用者の生活にハリを与え生きがいを感じてもらえるようなレクリエーションを考え、実施してください。

①レクリエーションの意義と目的（1時間）

社会福祉におけるレクリエーションの意義と目的を授業で確認しました。

②施設見学（2時間）

実習させていただく予定だった施設に見学に行かせていただき、施設の環境、利用者さんの状況などを教えていただきました。

③企画会議（1時間）

グループでどのようなレクリエーションを実施するか計画を立てました。みんなでGoogleドキュメントで共同編集しながら、企画会議を進めていきました。

④進行表の作成（2時間）

企画書にはない、発言や動き、隊形など詳細な計画を立てます。

ここで計画変更！コロナウイルス感染症の感染拡大により、実習に行くことが出来なくなりました！！

⑤作戦会議（1時間）

この状況をどのように解決するか話し合い、レクリエーションを動画で撮影し、施設で流していただくようお願いすることに決まりました。

⑥レク材の作成（4時間）

レクリエーションに必要なものを作りました。

⑦練習→リハーサル（3時間）

本番と同様にレクリエーションを実施し、撮影して、手順や分担、動画を観てわかりやすいか楽しんでいただけたか確認しました。

⑧本番・動画編集（3時間）

実際に、利用者の方に見ていただく動画を作成しました。

⑨完成した動画を視聴（1時間）

利用者の方に楽しんでいただけるか、わかりやすくできているかという視点で視聴しました。

「生徒の作成した → 動画の一場面」



⑩実習施設に動画を提出

実習予定だった施設に動画とレク材を提出しました。あとは、施設の方からの評価を待つばかり！！

パフォーマンス課題の評価

- ・企画したレクリエーションを学校で実施し、撮影した動画。
- ・施設で動画を流して、レクリエーションを実施していただいた評価。

単元を通して身につけてほしいこと

生徒はコロナ禍において今までと同様の生活を送ることが難しいと感じていると思いますが、それは福祉施設を利用している方、職員の方も同様です。それに気づき、その状況下においても利用者の方が夢中になれる様々な活動を実施し、「利用者の生活の質の向上をはかること」、「加齢や障がいのために楽しめない場面を減らすノーマライゼーションを実現すること」の大切さは変わらないことに気がついてほしいです。

評価

	A	B	C
ⅡⅢ 福祉実習	サービス利用者の状態や状況を考慮し、レクリエーションの目標を設定し、実施できた。	レクリエーションの目標を設定し、実施できた。	レクリエーションの目標を設定、実施できなかった。

- ・パフォーマンス課題に対する評価（50%）
- ・定期考査による評価（50%）